

科目コード：200001-0

担当教員	川島 和代、石垣 和子、西村 真実子、浅見 洋、牧野 智恵、村井 嘉子、瀧 耕子
------	--

1年次前期	単位数	2	授業形
-------	-----	---	-----

2

《学習目的》 看護理論の成り立ちとその活用・限界を学修する。具体的には以下の内容である。 1 主な看護理論の内容と背景にある考え方を学修する。 2 看護学固有の科学性とは何か、看護現象の科学的な捉え方、看護哲学と看護理論の結びつき、看護理論による看護現象の説明、看護研究における科学的手法等を学修する。 《学習目標》 討議に積極的に参加し、上記の内容を自らの看護実践や研究に還元できるように修得する。	
--	--

回	内容	授業方法	担当
1	看護を科学するとは	講義	川島
2	看護理論の基盤となる諸科学の概観	講義	石垣
3	中範囲理論と看護への活用	講義・討議	西村
4	大理論と看護への活用	講義・討議	西村
5	看護哲学と人間科学（１）	講義・討議	浅見
6	看護哲学と人間科学（２）	講義・討議	浅見
7	看護の発祥と理論（１）	講義・討議	川島
8	看護の発祥と理論（２）	講義・討議	川島
9	トラベルビーの人間関係論（１）	講義・討議	牧野
10	トラベルビーの人間関係論（２）	講義・討議	牧野
11	看護哲学と看護理論：ペナー（１）	講義・討議	村井
12	看護哲学と看護理論：ペナー（２）	講義・討論	村井
13	看護実践モデルと看護理論：オレム（１）	講義・討論	濱
14	看護実践モデルと看護理論：オレム（２）	講義・討論	濱
15	看護理論と看護学の科学としての将来	講義・討論	川島・石垣

看護理論家の業績と理論評価：筒井真由美 医学書院、2015
看護論（ベナー著）：医学書院 その他適宜紹介する。

70%以上の出席を全体条件とする。
レポート、討論の参加状況等により看護理論への理解度を判断する。7割の理解度にて合格とする。

70%以上の出席を全体条件とする。
レポート、討論の参加状況等により看護理論への理解度を判断する。7割の理解度にて合格とする。

レポート、討論の参加状況等により看護理論への理解度を判断する。7割の理解度にて合格とする。

オムニバス形式ではあるが、それぞれの回をしっかりと学習し、最後には総合的な学びとなるよう討議に参加してください。